

セルロース系バイオマス植物として有用な オギススキ新品種「MB-1」と「MB-2」

市販化

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他
(バイオマス)

生産 品目：オギススキ（資源作物）

技術の概要

オギススキは、海外ではジャイアントミスカンサスと呼ばれ、バイオマス植物として利用されている。国内においてオギススキの利用を推進するため、株の広がりが速く、草地造成の労力を大幅に削減できる新品種「MB-1」と「MB-2」を開発した。

本品種は、バイオマス燃料として利用することでカーボンニュートラルに向けて二酸化炭素排出量削減に貢献できる。さらに、耕作放棄地に導入することで、耕地の有効活用や省力管理が可能である。

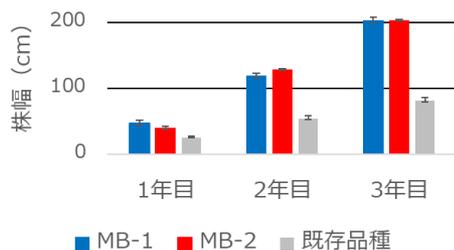
効果

◎省力的にバイオマス植物の栽培が可能

一般的にオギススキは、草地造成を行えば数十年の利用が可能であり、さらに、年1回の施肥と収穫作業で圃場の管理が可能のため、省力的な栽培が可能である。

◎移植苗数を通常の1/4に削減可能

「MB-1」と「MB-2」は株の横への広がりが速いため、既存品種ではヘクタール当たり10,000苗を移植するが、新品種では2,500苗で草地造成可能である。



●新品種「MB-1」と「MB-2」の出穂時の草姿

既存品種に比べ
「MB-1」と
「MB-2」の
株の広がりが速い

新品種「MB-1」「MB-2」
及び既存品種の移植2年目の
草勢
(条間300cmで移植。2021
年10月15日撮影 盛岡市)



導入の留意点

- ・積雪地では降雪前に収穫を行う
耐倒伏性がやや劣るので、収穫は降雪前に行う。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 価格帯
 - ・苗代 250円程度/苗（ただし、輸送費と梱包費は除く）
 - ・（株）タカノと（一社）アグリデザイン研究所から販売中（予約必要）
 - ・移植密度は200cm×200cmに1本も可（既存品種は100cm×100cmに1本）
- 適応地域
 - ・東北以南の地域で栽培可能

関連情報

- ・普及成果情報：セルロース系バイオマス植物として有用なオギススキ新品種「MB-1」と「MB-2」（令和4年）

